

【瑞穂市の方針と重点】
 心豊かに光り輝く「みずほ」の子ども
 魅力ある「みずほ」の学校
 ○一人一人に「生きる力」を育む指導
 ○学校の教育目標の具現に徹する学校経営
 ・本に学ぶみずほの子
 ・あいさつできるみずほの子

【学校の教育目標】
自立 自ら動く
 ～創り出す
 思いやる
 鍛え合う～

【生徒の実態】
 ○規律を守り、落ち着いた生活を送ることができ、何事にもまじめに取り組める。
【願う姿】
 「意味とねうち」をもとに判断、行動し、最後までやりぬく生徒
 「仲間との関わり」を大切にし、支え合い、磨き合う生徒

《創り出す》主体性
 自ら願いをもち、仲間と共に学ぶ中で、自分で実現する力を身に付け、未来を切り拓くことができる生徒

《思いやる》社会性
 仲間と共に学ぶ中で、互いの立場を尊重し、自他の良さを認め合い、支え合い、磨き合うことができる生徒

《鍛え合う》主体性+社会性
 願いの実現に向けて、仲間と共に最後まで粘り強く取り、課題を乗り越えることでたくましさ身に付け、より良い生き方を見つけることができる生徒

【目指す学校像】
 生徒一人一人の「夢への扉」を開く穂積北中学校 ～「主体性」と「社会性」の育成～

指導の重点 穂北「夢プロジェクト」10プラン

☆学力の向上 教科指導の充実
 (1) 授業改善 研究推進委員会 教科指導部会
 ・主体的に学びに向かう生徒の育成
 ・「できた」「分かった」「学ぶ喜び」の実感 定着状況の見届け・終末の工夫
 ・ICTの活用
 (2) 学習委員会の取組
 ・生徒と教師による授業づくり
 ・めざす授業の活性化
 ※研究発表会
 (3) 家庭学習の充実
 ・自主学習ノート&家庭学習の時間
 ・家庭学習の方法 手引き・改訂
 (4) チャレンジ学習の充実
 ・全員参加 チャンスに挑戦
 ・上位入賞者のアップ

☆あいさつの充実
 (1) 自分からできるあいさつ
 (2) 授業、朝の会・帰りの会
 (3) あいさつの意味指導の徹底
 ・敬意と感謝の気持ちを表す。
 ・人と人とのつながりを深める。
 ・気持ちを切り替え、規律を作る。
 ※生徒会やMSJによる生徒の主体的な活動の位置づけ

☆生徒会活動の充実
 自治力・自浄力の育成
 (1) 核となる生徒会活動の充実
 ①4つの軸の確立 伝統・愛校心 挨拶・合唱・環境・授業
 (2) 常時活動 日常生活の充実 委員会活動のさらなる活性化
 ①顧問会の実施 活動の見通し
 ②縦割りの活動の工夫と改善
 ※生徒の手で創り上げる 体育祭・合唱祭

☆読書活動の充実
 (1) 朝読書の実施 10分間
 本に慣れ親しみ、関心意欲を高める。さらに完読を推進し、読書の良さを実感させる。語彙力の向上
 ・本の選択(判断の指導)
 (2) 図書館の一層の充実を図る
 (3) 情報委員会の活動の充実
 (4) 家庭における読書の時間の確保

☆道徳教育の充実 年1回 道徳の公開授業 ※訪問事業
 ○量的確保 35時間の確実な確保
 ○質的転換 道徳的価値に向き合い、考え、議論する道徳教育への転換
 ・道徳教育研究部会

☆キャリア教育の充実
 (1) 進路指導の充実
 付けたい力(基礎的・汎用的能力)の明確化 指導と評価
 (2) 夢講話の実施 年2回
 (3) 地域探検(職場訪問)・職場体験・東京研修(企業訪問等)・模擬会社等の活動の推進
 講演や講話、体験活動をもとに、今の自分を見つめ、将来より良い生き方について考えさせる。同時に、職業観・勤労観および諸能力を育成する。

☆人権教育の充実
 ・人権週間の実施(2回)
 ・穂積北中学校人権宣言の活用
 ・ネットプロミスの活用

☆MSJ活動の活性化
 MSJを軸にして、ボランティア活動を学校内外で展開していく。
 ・地域貢献活動の活発化

☆教育相談の充実 校内の適応教室の効果的な運用
 ・不登校・いじめに対する対応の強化
 未然防止 即対応 再発防止・・・報・連・相
 ・QIおよび生活アンケートによる実態把握
 ・チーム力の向上(SC・S相・外部機関との連携)

☆特別支援教育の充実 意識改革
 「その人らしさを認め合いながら共に生きる学校・学級」
 ・一人一人の教育的ニーズに応える支援体制の充実
 ・全職員による共通理解と支援体制の強化
 ・全職員の専門性の向上 校内研修

学校の教育目標を実現するための土台

☆生徒一人一人を大切にできる職員集団 ～受容と毅然～
 「できて当たり前のこと」を指導しることができる 基本的な生活習慣と学習姿勢
 「意味とねうち」を確実に指導しることができる 確かな判断力と行動力
 安全に生活できる環境と安心して活動できる温かい関係をつくることできる 安全と安心
 確かな人権感覚をもち、より深く生徒を理解し、心に寄り添った指導ができる 対話と規律
 常に自己の指導を振り返り、弱さや甘さに目を向け、指導の改善に努めることできる 自己改善(P⇒D⇒C⇒A)